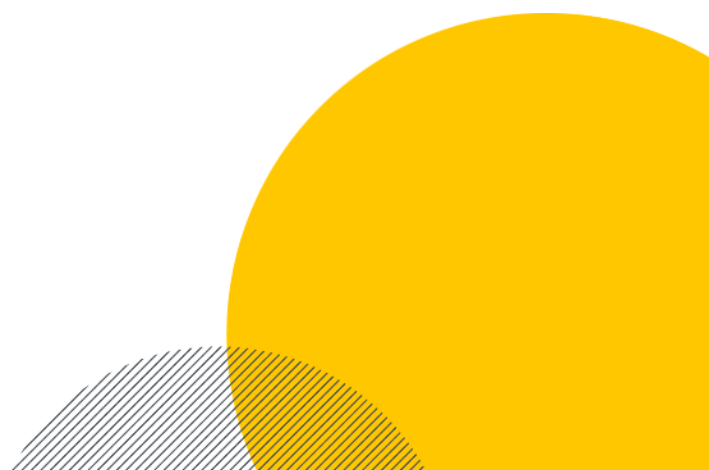


白銅株式会社

# 温室効果ガス排出量 検証声明書

インターテック・サーティフィケーション株式会社





## 1. 検証概要

インターテック・サーティフィケーション株式会社（以下、Intertek）は、白銅株式会社（以下、組織）が算定した温室効果ガス（GHG）排出量について、報告された算定データの信頼性及び正確性を検証しました。本検証は、組織のGHG排出量に関する声明が ISO 14064-1:2018 に準拠して作成されているかを評価し、ISO 14064-3:2019 に準拠した限定的保証レベルの検証意見を表明するものです。

## 2. 検証目的、役割と責任

- ・目的: 本声明書は、組織が算定・報告したGHG排出量データについて、予め合意した算定基準及び検証基準に基づき、その信頼性及び正確性を検証し、検証意見を表明することを目的とします。
- ・組織の責任: GHG排出量に関するデータ収集、集計、算定報告書の作成、及び関連情報の開示を行うこと。
- ・Intertekの責任: 独立した第三者として、秘密保持を遵守しつつ、実施した検証手続に基づき客観的な検証意見を表明すること。

## 3. 検証範囲

本検証は、組織によって報告された2025年度のGHG排出量を対象としました。なお、受領資料に基づく算定対象期間は、国内拠点および上海白銅精密材料有限公司が2025年4月1日から2026年3月31日、海外拠点（上海白銅精密材料有限公司を除く）が2025年1月1日から2025年12月31日です。

### ・組織的境界:

白銅株式会社本体、株式会社AQR、上海白銅精密材料有限公司、Hakudo(Thailand) CO., LTD.、HAKUDO USA Inc.、West Coast Aluminum & Stainless, LLC を含む組織全体。

### ・地理的境界:

日本国内及び海外拠点を含む受領資料記載の対象事業所所在地。なお、現地検証は白銅株式会社 神奈川工場で行いました。

### ・オペレーションの境界:

Scope 1: 燃料使用及び車両燃料等からの直接排出

Scope 2: 購入電力によるエネルギー起源間接排出

Scope 3: Category 1「購入した製品・サービス」に係るサプライチェーン上の間接排出

## 4. 検証手続、及び検証基準

当社Intertekは、ISO 14064-1:2018 に準拠した算定基準、及び ISO 14064-3:2019 に準拠した検証基準により、GHG排出量の検証を行いました。限定的保証の一環として、以下の活動を実施しました。

### ・計画とリスク評価:

GHG算定における固有リスク及び統制リスクを評価し、重点検証領域を特定したうえで検証計画を策定しました。

### ・データ及びシステムの検証:

組織関係者へのヒアリング、算定に使用された活動量データ、排出係数、及びデータ管理方法のレビューを行いました。

### ・データのサンプリング:

主要な仕入先、電力使用データ、燃料・交通費精算データ等について、サンプリングに基づく証憑照合及び再計算を実施しました。

### ・算定基準への準拠性評価:



算定方法が ISO 14064-1 の要求事項に準拠しているか、また Scope 2 におけるマーケット基準とロケーション基準の適用が整合しているかを評価しました。

## 5. 検証の結論

当社Intertekが実施した検証作業及び検証プロセスに基づき、以下を結論とします。

限定的保証のレベルにおいて、組織のGHG排出量に関する声明が、以下の事項について著しく正確性を欠いていることを示す証拠は見出されませんでした。

- ・GHG排出量データ及び情報が、GHG排出量の対象範囲を適切に示していること
- ・GHG排出量が、組織が定めたGHG算定方法及び適用した排出係数に従って作成されていること

## 検証されたGHG排出量

Scope 1: 124 t-CO<sub>2</sub>e

Scope 2: 2,389 t-CO<sub>2</sub>e (マーケット基準、非化石証書控除後)、4,284 t-CO<sub>2</sub>e (ロケーション基準)

Scope 3 (Category 1) : 482,781 t-CO<sub>2</sub>e

## 6. 基本情報

検証対象組織名	白銅株式会社
代表責任者名	代表取締役社長 山田 哲也
組織の住所	〒100-8302 東京都千代田区丸の内2-5-2 三菱ビル11階
現地検証の拠点名	白銅株式会社 神奈川工場
現地検証の拠点住所	〒243-0023 神奈川県厚木市戸田2514
組織のウェブサイト	<a href="https://www.hakudo.co.jp/">https://www.hakudo.co.jp/</a>
事業活動の概要	非鉄金属、ステンレスその他金属材料の仕入・販売・加工に関する事業

## 7. 検証範囲・結果 (総括)

算定対象期間	2025年度 (国内拠点および上海白銅精密材料有限公司が2025年4月1日から2026年3月31日、海外拠点 (上海白銅精密材料有限公司を除く) が2025年1月1日から2025年12月31日)	
検証基準	ISO 14064-3:2019	
検証対象文書	Scope1 検証、Scope2 検証、Scope3 検証、ロケーション基準、算定期間一覧、仕入先別仕入実績202512、日軽金ハイスベック2017_202511、Hakudo Corporation. SOP201-2 JP-GHG-CFP 検証チェックリスト	
検証された温室効果ガス排出量	Scope 1: 124 t-CO <sub>2</sub> e Scope 2: 2,389 t-CO <sub>2</sub> e (マーケット基準、非化石証書控除後)、4,284 t-CO <sub>2</sub> e (ロケーション基準) Scope 3 (Category 1) : 482,781 t-CO <sub>2</sub> e	
組織と合意した検証の前提	削減目標	組織全体のGHG排出量の検証であり、削減量の検証は対象外
	目的	組織が作成したGHG排出量算定結果について、ISO 14064-1:2018 への準拠及び算定結果の信頼性・正確性に関し、独立の立場から検証意見を表明すること。



	<b>範囲</b>	白銅株式会社本体、株式会社AQR、上海白銅精密材料有限公司、Hakudo (Thailand) CO., LTD.、HAKUDO USA Inc.、West Coast Aluminum & Stainless, LLC
	<b>対象GHG</b>	CO2
	<b>対象活動、活動の区分並びに活動量の表示方法</b>	Scope1：燃料及び車両燃料等、Scope2：購入電力（マーケット基準及びロケーション基準参照）、Scope3：カテゴリ1「購入した製品・サービス」。活動量は主に kWh、円、kg で表示。
	<b>算定対象期間内の組織的・地理的範囲の変化</b>	算定期間一覧に基づき、国内拠点は2025年度、海外拠点は2025年暦年で算定。対象組織の範囲は受領資料記載のとおり。
	<b>保証水準の基準</b>	限定的保証
<b>検証手続</b>	<input type="checkbox"/> 実地審査を実施した <input checked="" type="checkbox"/> サンプルングで実地審査を実施した <input type="checkbox"/> 実地審査を実施していない	
<b>修正・指摘事項及び解決方法</b>	検証過程で確認された観察事項及び確認事項については、検証チェックリストに基づきレビューし、重大な虚偽表示に至る未修正事項は確認されませんでした。Scope2については、国内拠点はマーケット基準、海外拠点はロケーション基準を用いる運用を確認しました。	
<b>検証意見</b>	<input checked="" type="checkbox"/> 無限定適正意見：すべての重要な点でGHG算定基準に準拠していると判断 <input type="checkbox"/> 限定付適正意見：特定の事項を除いてGHG算定基準に準拠していると判断 <input type="checkbox"/> 不適正意見：GHG算定基準に準拠していないと判断	

## 8. 事実確認

発見事実から当該事業所のGHG算定結果を確定することができるか？	<input checked="" type="checkbox"/> 確定できる <input type="checkbox"/> 確定できない
所見	受領した算定データ、月次仕入実績、個別伝票、電力使用量データ、現地検証結果及びサンプルング結果により、検証対象範囲に係るGHG算定結果を確定できると判断しました。
GHG算定結果に重大な影響を及ぼす、または及ぼす可能性のある問題点について、あらゆる具体的な対応策がとられ、その効果が明確になっているか？	<input checked="" type="checkbox"/> 明確になっている <input type="checkbox"/> 明確になっていない
所見	検証チェックリストに記録された確認事項、サンプルング結果及び独立レビュー結果に基づき、重大な虚偽表示に至る未解決事項はありません。

## 9. 参考文献



	<ul style="list-style-type: none"><li>・ISO 14064-1: 2018 (温室効果ガス — パート1: 組織によるGHG排出量及び吸収源の定量化及び報告のための仕様)</li><li>・ISO 14064-3: 2019 (温室効果ガス — パート3: 温室効果ガスに関する声明の検証及び妥当性確認のための指針付き仕様)</li><li>・GHG Protocol Corporate Accounting and Reporting Standard</li><li>・Hakudo Corporation. SOP201-2 JP-GHG-CFP 検証チェックリスト</li><li>・算定期間一覧</li><li>・仕入先別仕入実績202512</li><li>・拠点別排出係数一覧_2025年度</li><li>・ロケーション基準</li><li>・エクスポートデータ_20260424</li><li>・260323受領子会社データ</li><li>・仕入先別仕入実績明細</li><li>・【データ比較】Scope2_Scope2_環境省1月</li><li>・Scope2_環境省1月公開データ</li><li>・Scope3_0205_IDEA2025年度版</li><li>その他組織より提供された関連書類</li></ul>
--	---

## 10. 換算係数や用語の定義

	<ul style="list-style-type: none"><li>◆換算係数<ul style="list-style-type: none"><li>・Scope1：交通区分別交通費支給額当たり排出原単位（自動車）0.01339 kgCO2/円、軽油 0.01705 kgCO2/円等を使用。</li><li>・Scope2：電気事業者別調整後排出係数、代替値、及び海外拠点の国平均電力原単位を使用。</li><li>・Scope3：GLIO 2005、IDEA v3.5 2025 等の原単位を使用。</li></ul></li><li>◆用語<ul style="list-style-type: none"><li>・マーケット基準：契約電力メニュー等に基づく排出係数を用いたScope2算定。</li><li>・ロケーション基準：地域又は国平均の電力排出係数を用いたScope2算定。</li><li>・GHG：温室効果ガス。本声明書では t-CO2e で表示。</li></ul></li></ul>
--	---



## 11. 検証後に重大な事実が発見された場合の対応方針

<b>検証結果に重大な影響を与える可能性のある事実が発見された場合における対応方針</b>	<p>検証結果に重大な影響を与える可能性のある事実が判明した場合、Intertek は以下の対応を検討します。</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・当該事実の内容及び影響を確認する</li><li>・必要に応じて検証意見の見直しを検討する</li><li>・組織との協議及び声明書の再発行要否を検討する</li></ul>
---	--

## 12. 検証機関の情報

<b>検証機関名</b>	インターテック・サーティフィケーション株式会社 Intertek Certification Japan Limited.
--------------	--



担当部署名	サステナビリティ アシュアランス Sustainability Assurance
責任者名	西園 厚徳 Atsunori Nishizono 
検証チームリーダー	西園 厚徳 Atsunori Nishizono
検証チームメンバー	福永 一郎 Ichiro Fukunaga
レビューアー	重田 孝次 Koji Shigeta 
テクニカルエキスパート	海老谷 尚彦 Naohiko Ebitani
本検証報告書に対する 問合せ先	担当者 西園 厚徳 Atsunori Nishizono
	TEL +81 70-1799-9500
	Email <a href="mailto:atsunori.nishizono@intertek.com">atsunori.nishizono@intertek.com</a>
組織関係者との利害抵触	<input type="checkbox"/> あり <input checked="" type="checkbox"/> なし
判断の根拠や参照文書	組織とIntertekの検証チーム間での契約書類より、双方で特定の利害関係がなく、独立した立場で、客観的な検証が実施されていることが確認されました。また、Intertekの内部規定およびISO 17029: 2019（適合性評価）に準拠し、利害抵触がないことを確認しました。

### 13. 検証機関における記録・保存

意見表明の根拠となる証拠等を全て記録・保存しているか	<input checked="" type="checkbox"/> 全て記録・保存している <input type="checkbox"/> 記録・保存していない
----------------------------	--

※本声明書は、組織から受領した活動量データ、排出係数、関連証憑及び検証手続に基づいて作成したものです。

※不確実性: GHGデータの算定には、排出係数の選定、活動量の計測又は集計方法等に由来する固有の不確実性が伴います。

※限定的保証について: 本検証で実施した手続の範囲は、合理的保証と比較して限定的であり、重大な事象の全てを把握できない可能性があります。